

授業科目名	保育内容（言葉）(A)			科目コード	K1202P08
英文名	Childcare (Language)				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	准教授	担当教員名	本江 理子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	2限目		
開講時期	2年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	乳幼児の言葉の獲得・発達過程や保育者の言葉を細かく学ぶ中で、現代の問題も考察していく。「言葉」というものを捉え直し、言葉のもつ特性などを理解した上で教材研究をする。言葉が育つ環境を考えることで、小学校での学びにどのようにつながるのかを具体的に考える。(担当教員：保育士・幼稚園教諭・保育施設巡回指導の実務経験あり)				
キーワード	言葉の獲得	言葉の発達段階	言語的環境	教材研究	
到達目標	幼稚園教育や保育で育みたい資質能力について理解することができる。（30％）				
	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「言葉」のねらい及び内容について、理解を深めることができる。（40％）				
	乳幼児の言葉の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構築する方法を身に付けることができる。（30％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
	○	○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
○				/	/

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	保育内容のとらえ方と領域「言葉」（ねらい及び内容・全体構造をふまえて）	
	【予習】テキストの目次を見て、授業内容の概観をつかむ 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を準備する	90分
	【復習】領域「言葉」に関してノートにまとめる 当日中に、WEBシラバス上で「鉛筆を持った人マーク」をクリックし、今日の授業についてのアンケートフォームに記入し、回答送信ボタンを押す（毎回）。	90分
第2回	発達のとらえ方と言葉（言葉の特徴と発達段階） 言葉の発達の基盤となる信頼関係の形成　非言語的コミュニケーションの重要性	
	【予習】テキストの第2回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】乳児期の言葉の特徴と発達段階に関してノートにまとめる	90分
第3回	発達のとらえ方と言葉（言葉の特徴と発達段階） 伝え合う喜びを味わうようになる過程	
	【予習】テキストの第3回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】幼児期の言葉の特徴と発達段階に関してノートにまとめる	90分
第4回	言葉が育つ環境（児童文化財も含めて）	
	【予習】テキストの第4回の授業内容が書かれている箇所を読む テキスト以外の参考文献を探す	90分
	【復習】言葉が育つ環境に関して、ノートにまとめる	90分
第5回	演習　「言葉の楽しさや美しさ」に気付く遊び（しりとり、なぞなぞ、詩、わらべうたなど）	
	【予習】しりとり、なぞなぞ、詩、わらべうたなどについて書かれている文献を探す	90分
	【復習】しりとり、なぞなぞ、詩、わらべうたなどについて書かれている文献を読み、ノートに内容をまとめておく	90分
第6回	言葉遊びに関する指導案作成　（絵本・紙芝居など　児童文化財にかかわるもの）	
	【予習】指導案が作成できるように、参考文献や資料を探す	90分
	【復習】作成した指導案を吟味、再考する	90分
第7回	言葉遊びに関する指導案作成　（しりとり・なぞなぞなど　ゲームにかかわるもの）	
	【予習】指導案が作成できるように、参考文献や資料を探す	90分
	【復習】作成した指導案を吟味、再考する	90分
第8回	言葉遊びに関する模擬保育（情報機器及び教材の活用）	
	【予習】第6、7回に作成した指導案を吟味、再考し、模擬保育ができるように準備する	90分
	【復習】模擬保育の反省点をふまえ、ノートにまとめておく もう一度、指導案を練り直す	90分

第9回	保育の展開と子ども理解 保育者の役割と援助	
	【予習】テキストのこれまでの授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】授業内容とこれまでの学びをつなげて、考えをまとめておく	90分
第10回	グループ討議 乳児期にみられる問題点（事例を通して考える） 障害のある子や外国籍の子どもへの援助について	
	【予習】テキストの第10回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】障害のある子や外国籍の子どもへの援助について、具体例が書かれている文献を探して理解を深める	90分
第11回	グループ討議 乳児期にみられる問題点（事例を通して考える） 「言葉による伝え合い」について（小学校での学びにどのようにつながるのか）	
	【予習】テキストのこれまでの授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】乳幼児期の「言葉による伝え合い」とはどのようなことなのかを考え、小学校での学びにどのようにつながるのかをノートにまとめておく	90分
第12回	発達に合わせて援助する保育とは何かに関する教材研究 指導案作成	
	【予習】指導案作成の準備をする（テキストの関連箇所を読む 参考文献、資料を探す）	90分
	【復習】教材研究発表（模擬保育）の準備をする	90分
第13回	発達に合わせて援助する保育とは何かに関する教材研究 模擬保育	
	【予習】テキストの第13回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】模擬保育の反省点から、今後の課題を見出す	90分
第14回	保育者の指導に関する問題点及び評価	
	【予習】テキストの第14回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】保育者の指導に関する問題点及び評価に関して、ノートにまとめる その際、事例をあげて、より具体的に考えられるようにしておく	90分
第15回	「言葉の獲得に関する領域」の問題点	
	【予習】テキストの第15回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】「言葉の獲得に関する領域」の問題点に関して、キーワードごとに整理する 事例をあげて、より具体的に論述できるようにしておく	90分
第16回		
	【予習】	90分
	【復習】	90分

評価方法	課題レポート（60％）、模擬保育の発表内容（40％）を総合的に評価します。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	柴崎正行・戸田雅美・秋田喜代美編 『最新保育講座	使用資料 <参考図書>	厚生労働省『保育所保育指針解説書』（フ レーベル館）
授業外学修等	レポートの課題は、テキストを全て読んでいることを前提として出題します。レポート作成時期まで、テキストに2～3回は目を通せるよう、計画して読み進めておいてください。また、関連の文献などにも着目して、自分の考えを深めておきましょう。		
授業外質問方法	授業の前後、オフィスアワーを中心に随時受け付けます。 オフィスアワーに授業が重なっている場合は、別の時間を予約してください。		
オフィス・アワー	木曜日2限（E-402 本江研究室）		